

第14回海外勤務者健康管理研修会
2012年8月25日(土)
野村カンファレンスプラザ大阪御堂筋

中国勤務の邦人労働者のための 中国医療事情と食・水の安全

海外邦人医療基金
宮本昌和

miyamoto@jomf.or.jp (Office Hour Only)
mickey2miyamoto@joy.hi-ho.ne.jp (24-365)



今日のお話

- 感染症：衛生部の法定伝染病月報・年報
- 医療機関：級・等別の分類
- 健康診断：法令改定
- 救急車利用
- 空気と飲料水の汚染：黄砂・スモッグ・水源汚染
- 食の安全：偽物・下水油・食品添加物
- 薬の問題：品質・偽物・管理状態・密輸品
- 日本人駐在者の留意点
- 医療情報収集手段

感染症月報と年報

- 政府の公式発表は衛生部発信のみ
 - 新聞の発表は、基本的に衛生部情報の転載
- 甲乙丙類に分類される
 - 甲(A)類は2種
 - 乙(B)類は26種
 - 丙(C)類は11種

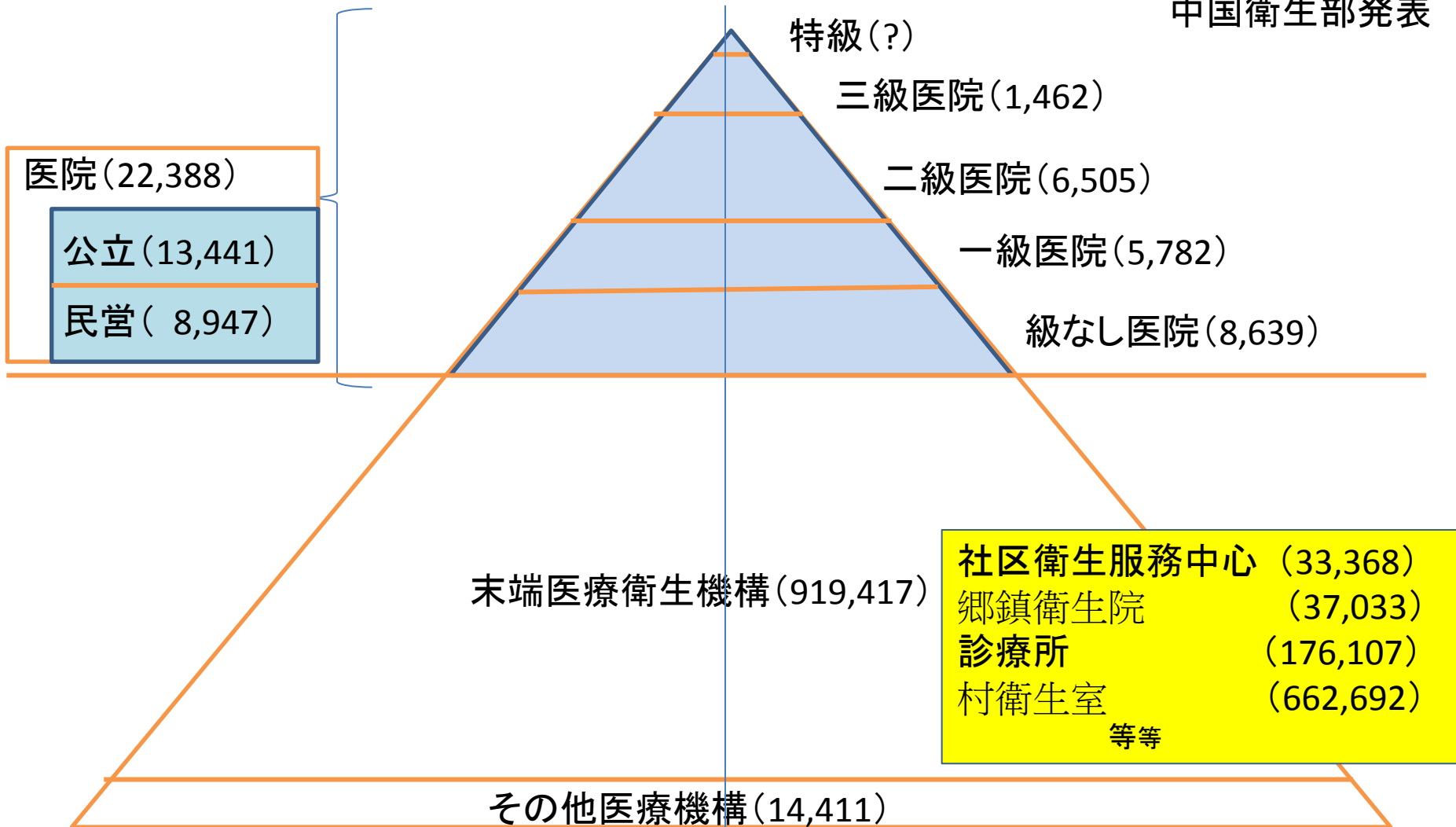
} 計39種
- 月報は基本的に毎月10日発表
- (1～12月)年報は毎年2月10日に1月分の月報と同時発表
 - 基本は各月報の累計だが、、、突然理由もなく数字が変更されていることがある。特に2010年発表時に大差発生

医療機関

- 三つの級・三つの等、に「特級」の10段階
- 機能及び役割に応じて等級別に分類管理
 - 更に20床超でも「級なし」もある為4グレードになる
 - 一級病院は「甲等」・「乙等」・「丙等」に
 - 二級病院は「甲等」・「乙等」・「丙等」に
 - 三級病院は「甲等」・「乙等」・「丙等」に
 - 三級甲等の上には「特級」も！
(北京では中日友好、首都医院等が三特医院「らしい」)
- 法令：医院分級管理弁法、医院分級管理標準

956,216医療衛生機構の内訳

as of May 2012
中国衛生部発表



中国の病院



産婦人科受付：中日友好医院にて
(著者撮影)

科	日一	日二	日三	日四	日五	日六	日七
内科		上午		下午		9	
外科		上午			下午	14	4.5
妇产科		下午				14	4.5
儿科		上午				100	4.5
眼科				上午		300	
耳鼻喉科			全天			14	
口腔科						14	

医師の診察予定表：一番上の医師は、毎週火曜の午前と木曜の午後担当で9元/回、5番目の医師は毎週金曜日の午前担当で300元/回とその診療費の差は33倍 中日友好医院にて(著者撮影)



中日友好医院にて
右は案内してくれた孟さん
(著者撮影)



健康診断(健康診断管理暫定規定)

健康診断管理暫定規定 [2009年09月01日から施行]

第四条 下記条件を満たしている医療機構は、健康診断の申請をすることができる。

(一) 相対的に独立した健康診断スペース及び待合室を具備しており、その建築総面積が400m²以上あり、各独立した検査室の面積は6m²以上あること。

(二) 登録診療科目は少なくとも内科、外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔科、放射線科及び医学検査科(検査試験科)を含んでいること。

(三) 少なくとも2名以上の内科或いは外科の副教授(副研究員)以上の専門技術職資格を有する診療医師がおり、各臨床検査科室には1名以上の中級の専門職資格を有する医師がいること。

(四) 少なくとも10名以上の登録看護師がいること等6項

救急車利用

北京救急センターの救急車利用費用

基準救急費用

		項目(項目)	単位	価格
車代	救急車両	高級救急車	ベンツ シボレー	5元/km(車往診費用40元, 車内検査、治療費加算50%)
		心肺蘇生救急車	救急車	3.5元/km(車往診費用40元)
		輸入救急車	トヨタ	2.5元/km(車往診費用20元)
		国産救急車	福田(Foton)	2.0元/km(車往診費用10元)
救護措置、治療費	明細	項目	単位	価格
		皮下、筋肉注射	人回	0.50元
		静脈注射	人回	1.00元
		カテーテル留置	人回	8.00元
		酸素吸入	一時間あたり	2.50元(酸素ボンベ)<加圧酸素吸入 ^(*) > (注)加圧吸気加倍:二倍に加圧して酸素吸入をするものようです
		酸素吸入マシン	一時間あたり	5.00元
		人工呼吸器利用	一時間あたり	20.00元(輸入品)
		心電図検査	人回	8.00元
		心電図自動分析	人回	4.00元
		心電図(ECG)	一時間あたり	5.00元
		心臓マッサージ	人回	15.00元(連続マッサージ15分以上は更に加算)
		同期除細動	人回	20.00元
		非同期除細動	人回	10.00元
		気管挿管	人回	20.00元
		空腹時血糖	アイテム	8.00元
		救助(大)	一日当たり	120.00元
		救助(中)	一日当たり	80.00元
救助(小)	一日当たり	40.00元		
その他費用	待ち時間費用	10元/時間(病人や家族が救急車を待機するよう要求をした場合、30分以内は無料、30分経過後は1時間ごとに費用徴収する)		
	省市外への患者移送が認められた場合	車代、診療費は双方で商談		
	救急車1両に二人以上の患者を運ぶ場合	各自1キロ当たりの費用の60%を徴収、車上での診療費用は一人ごとに徴収		

* 北京救急センター HP(http://www.beijing120.com/jj_sfbz.asp)より

空気と飲料水の汚染 (黄砂・スモッグ・水源汚染)



- 黄砂(沙尘): 言わずもがな。。。
- スモッグ:
 - 日本でも昔は光化学スモッグ警報
 - 米大使館が中国のスモッグ情報「重度の汚染」を独自に発信[2012.5月]
 - 西藏(チベット)、黒竜江、海南省以外PM2.5全てアウトとの報道(エコノミスト情報[2012.2月])
- 新幹線車内のPM2.5:
 - 新幹線車両の中でWHO基準以上の濃度になったという報道[2.13ブログ]
- 水源汚染: 都市水道の5割が不合格 [5.12明報]
 - 深圳では、糞尿を処理せずに水源地に投機
 - 各地では、ダイオキシンや六価クロム、各種重金属汚染物質を川に投棄

中国の法定伝染病分類

- 甲類2種：ペスト、コレラ
- 乙類26種：伝染性SARS、エイズ、ウィルス性肝炎(A～E型・未分類の肝炎)、ポリオ、人感染高病原性鳥インフル、A型H1N1インフルエンザ、麻疹、流行性出血熱、狂犬病、流行性B型脳炎(日本脳炎)、デング熱、炭疽、細菌性及びアメーバ性赤痢、肺結核、チフス及びパラチフス、流行性脳脊髄膜炎、百日咳、ジフテリア、新生児破傷風、猩紅熱、ブルセラ症(波状熱・地中海熱)、淋病、梅毒、レプトスピラ症、住血吸虫病、マラリア
- 丙類11種：インフルエンザ、おたふくかぜ、三日ばしか・風疹、急性出血性結膜炎、ハンセン病、発疹チフス、黒熱病、包虫症(エキノコッカス病?)フィラリア症、その他感染性下痢、手足口病

食の安全

(偽物・下水油・食品添加物)

- スイカ爆発事件(成長促進剤過剰投与)
- 下水油(地沟油)事件(産業廃棄物で油精製)
- 農薬残留物で作った食卓塩事件
- ツバメの巣の硝酸亜鉛残留事件等...

いずれも、利益を大きくするために多少のことは許されるだろうという大陸的な発想が起点にある

しかも、海外から精製設備を導入するなど偽物の生産技術が向上し、官憲の検査機関でも見極めがしにくいという現実が存在している！

薬の問題

(品質・偽物・管理状態・密輸品)

- 国内開発・国内生産・国内流通が基本
 - 輸入の手続きも可能だが病院などが当局に申請をするのは煩雑 → 密輸(走私)も横行
- 国内生産薬剤の品質
 - WHOが中国製ワクチンの品質を認めている(2009年)
 - ということは生産時の品質はOK・・・でも？
- 管理状況
 - 薬品工場の倉庫保管、輸送時の温度管理、病院内部の保管状態が万全か？ 怪しい
- 偽薬
 - 病院清掃員や医師が小遣い稼ぎで地下ルートにパッケージを販売、混ぜ物をしたものや別の薬、偽薬を輸入薬として粗利を稼ぐグループの存在

藥局



駐在者が留意させるべき点

- 「体の物理変化、化学変化の誘因は口です。
ダイエットするか、病気の予防か（張 艶玲）」
「病気（やまい）は口から、口へは手から（サラヤ）」
 - 手洗い、うがいの励行等の基本動作
- 予防接種で防げるものは事前に
- 生活習慣病対策・メンタルヘルス対策
 - 暴飲暴食を避け、気分転換のツールを見つける
- 買い物：『ケチりすぎない』こと（程々に！）
- 情報入手
 - 現地のテレビ報道などが一番早い情報源だが...
 - 信頼できる現地人を早く作ること

産業医

としての

医療情報収集手段 (I)

ネット

- 外務省や在外公館の医務官情報 (www.mofa.go.jp)
- 厚労省検疫所FORTH情報 (www.forth.go.jp)
- JOMFの発信情報 (www.jomf.or.jp)
- 健康関連企業の情報・保険会社の発信情報
- 中国衛生部 (www.moh.gov.cn)
- 各都市衛生局情報 (例: www.wsj.dl.gov.cn)
- 百度、新浪などの中国ネット情報 (news.baidu.com ; www.sina.com.cn)
- サーチナ、レコードチャイナ等の日本語中国情報 (www.recordchina.co.jp ; news.searchina.ne.jp)

医療情報収集手段（II）

ネット
以外

- 現地従業員の情報網の吸い上げ
 - 現地スタッフとの良好な関係を構築させること
- 帰国者（含むご家族）からの情報入手
 - 人事・総務部門に協力させることがカギ！
- セミナー等への参加
 - 東京医科大病院渡航者医療センター実用セミナー
 - JOMFミニセミナー
 - JOMF海外医療情報交換会
- 他企業産業医などとのネットワーク構築
- JOMFもお忘れなく！